

(I) 実務実習事前学習方略と自己評価

1) 複数日行なう実習に関しては、実施日欄は初日を記入  
 2) 自己評価は、実施日を記入。複数日行う実習に関しては、実習中と実習終了時に追加記入(例: 10/8)

福山大学方略は、実務実習モデル・コアカリキュラム方略を、実際のスケジュールにあわせて再構成したもの。

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価			
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った
【薬剤師業務に着目する】	方略1	S101	◎医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	PC、テキスト、プリント、プロジェクター	教員1名	1	これまでの授業プリント、テキスト使用。DIで調査。グループでまとめて発表			10/8		
		S102	◎医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。												
【チーム医療に注目する】、【医薬分業に注目する】	方略2	S103	◎薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。	講義室、SGD室x8、DI室(73名)	73名	演習、発表	PC、テキスト、プリント、プロジェクター	教員8名	3						
		S104	◎医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。	講義室(73名)x1、SGD室x8、DI室(73名)	73名	講義、演習、発表	PC、テキスト、プリント	教員8名	4	これまでの授業プリント、テキスト使用。DIで調査。グループでまとめて発表					
S105	◎チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。														
S106	◎自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)														
S107	◎医薬分業の仕組みと意義を概説できる。														
【処方せんの基礎】	方略4	S201	◎処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。	講義室(73名)	73名	講義	模擬処方せん、プリント	教員1名	1	S201以外は方略6以降(実習)でも学ぶ。					
			◎処方オーダリングシステムを概説できる。												
		S202	◎処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。												
		S203	◎調剤を法的根拠に基づいて説明できる。												
		S204	◎不適切な処方せんの処置について説明できる。												
【疑義照会の意義と根拠】、【疑義照会入門】	方略5	S301	◎疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。	講義室(73名)	73名	講義	模擬処方せん、プリント	教員1名	2						
		S303	◎不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。												
		S305	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。												
			◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。												
			◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。												
			◎疑義照会の流れを説明できる。												

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価			
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った
【処方せんの基礎】、【医薬品の用法用量】、【疑義照会入門】 処方鑑査(処方せん鑑査実習)	方略6	S202	◎処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。	DI室(73名)	73名	演習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト、プロジェクター	教員4名	4	DI室は25名x1、50名x1、模擬処方せんは錠剤、散剤を含む、S202～S208、210、306について実習を行う。処方せん配布→添付文書印刷→処方鑑査→教員がチェック・到達目標に関する口答確認 処方鑑査時、処方に疑義があれば処方医役の教員を相手に疑義照会をする					
		S203	◎代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(技能)												
		S204	◎不適切な処方せんの処置について説明できる。												
		S205	◎代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。												
		S206	◎患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)												
		S207	◎患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。 ◎患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)												
		S208	◎病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。												
		S210	◎代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。												
		S306	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。												
			◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。												
◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。 ◎疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)															
【調剤室業務入門】	方略7	S211	◎処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)	SGD室x8、講義室x1、DI室(37名)	73名	演習、発表	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員8名	3	SGD(8グループ)、プロダクト作成、発表、合計3コマ、					
【調剤室業務入門】 調剤(実習)	方略8	S210	◎処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能) ◎処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)	調剤室x2(38名)	36-37名	実習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト、プロジェクター、DVD	教員4名	2	処方鑑査した処方せんを用いて調剤(錠剤、散剤)、評価項目説明、同僚評価、2人1組で調剤					
【調剤室業務入門】 調剤(実習)	方略9	S210	方略8と同じ	調剤室x2(38名)	36-37名	実習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員8名	2	処方鑑査した処方せんを用いて調剤(錠剤、散剤)、教員による評価、4レーン(実地試験)					
【調剤室業務入門】 調剤鑑査(実習)	方略10	S210	◎調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)	SGD室x8、講義室x1	36-37名	実習	模擬処方せん、チェック表、プロジェクター、DVD	教員4名	2	調剤した薬剤(錠剤、散剤)、薬袋を用いて調剤鑑査、評価項目説明					
【調剤室業務入門】 調剤鑑査(実習)	方略11	S210	方略10と同じ	SGD室x8、講義室x1	36-37名	実習	模擬処方せん、チェック表	教員8名	2	調剤した薬剤(錠剤、散剤)、薬袋を用いて調剤鑑査、教員による評価、4レーン(実地試験)	方略10の自己評価欄に追記				

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価				
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った	
【服薬指導の基礎】	方略12	S209	◎服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	テキスト、プリント	教員1名	1							
		S601	◎患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。													
【服薬指導に必要な技能と態度】	方略13	S602	◎代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。◎代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	テキスト、プリント	教員1名	1							
	方略14	S604	◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	テキスト、プリント	教員1名	1							
	方略15	S603	◎インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)	SGD室x8	73名	演習	PC、プロジェクト、模擬処方箋	教員8名	2	初回面談時の手順の検討 チェック表の作成						
			◎適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)													
	方略16	S603	方略15と同じ		演習室(37名)x2	73名	演習	模擬処方箋、 チェック表、メモ用紙	教員8名	1	2グループに分かれて初回面談のロールプレイをする	方略15の自己評価欄に追記				
【患者情報の重要性に注目する】、 【服薬指導入門】	方略17	S605	◎服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。	SGD室x8	73名	演習	PC プロジェクト 模擬処方箋	教員8名	2	服薬指導に必要な情報検討 服薬指導のシナリオ作成						
			◎患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。(技能)													
			◎医師、看護師などの情報の共有化の重要性を説明できる。													
			◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。													
	方略18	S605 S606	方略17と同じ	◎代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。(知識・技能)	SGD室x8	73名	演習	PC、プロジェクト、 模擬処方箋、薬品情報	教員8名	1	自分たちが作成した服薬指導のシナリオでロールプレイをしてみる、シナリオの修正					
				◎共感的態度で患者インタビューを行う。(技能・態度)												
				◎患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)												
	方略19	S605 S606	方略17と同じ		SGD室x8	73名	演習	PC、プロジェクト、 模擬処方箋、薬品情報	教員8名	2	シナリオの修正					
	方略20	S605 S606	方略17と同じ		演習室(37名)x2	73名	演習	PC、プロジェクト、 模擬処方箋、薬品情報	教員8名	1	2グループに分かれて自分たちが作成したシナリオでロールプレイをする	方略17の自己評価欄に追記				
	方略21	S605 S606	方略17と同じ		演習室(37名)x2	73名	演習	模擬処方箋、 チェック表、メモ用紙	教員8名 SP2名	1	2グループに分かれてSPと初回面談のロールプレイをする					
方略22	S605 S606	方略17と同じ		演習室(37名)x2	73名	演習	模擬処方箋、薬品情報、 薬品、薬袋トレイ、メモ用紙	教員8名、 SP2名	1	2グループに分かれてSPと服薬指導のロールプレイをする						

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価			
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った
【医薬品の安定性に注目する】	方略23	S401	◎医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	テキスト、プリント	教員1名	1						
		S402	◎代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。												
【特別な配慮を要する医薬品】	方略24	S407	◎代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	テキスト、プリント	教員1名	1						
			◎放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。												
	方略25	S403	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。	講義室(73名)×1	73名	講義	テキスト、プリント、プロジェクター	教員?名	2	これまでの授業プリント、テキスト(薬事関係法規・制度解説第9版)使用。					
			◎麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。												
		S404	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。												
		◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。													
	S405	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。													
		◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。													
	方略26	S406	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。	講義室、SGD室x8、DI室(73名)	73名	演習、発表	PC、テキスト、プリント、プロジェクター	教員8名	3	これまでの授業プリント、テキスト(薬事関係法規・制度解説第9版)使用。DIで調査。模擬管理簿を使用して記録や法定書類の作成の演習。グループでまとめた発表。					
			◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。												
◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。															
◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。															
◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。															
◎麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)															
【消毒薬】	方略27	S414	◎代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。	3111講義室(31101)	36-37名	講義	プリント、プロジェクター	教員1名	1	S411の実習講義を一部含む(31号館31101教室を使用)					
			◎消毒薬調製時の注意点を説明できる。												
【リスクマネジメント】	方略28	S503	◎院内感染の回避方法について説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	PC、テキスト、プリント	教員1名	1	授業プリント、テキスト使用					

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価			
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った
【製剤化の基礎】	方略29	S411	◎無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) ◎抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能)	31号館2階3122学生実習室(31202)	36-37名	実習	注射器具類、注射薬、消毒薬、ケミカルハザード用具(フェシールなど)	教員3名 TA3名	3	6名×6グループ。清潔手洗い、注射器操作法、注射液調整法、抗がん剤安全操作法の順に学習する					
	方略30	S408	◎院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	プリント	教員1名	1						
		S409	◎薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。												
方略31	S410	◎代表的な院内製剤を調製できる。(技術)	31号館1階実習室x1	36~37名	実習	模擬処方せん、水剤台、製剤機器、調剤用具、医薬品、容器	教員5名	3	処方せんに基づき、代表的な院内製剤を調製し、製剤を評価する。						
【注射剤と輸液】	方略32	S412	◎注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。	講義室(73名)	73名	講義	プリント	教員1名	1						
			◎代表的な配合変化を検出できる。(技能)												
【製剤化の基礎】	方略33	S411	◎無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)	講義室、注射薬実習室(36名、または37名)x1	36~37名	実習	ビデオ、クリーンベンチ、安全キャビネット	教員4名、TA2名	3	クリーンルーム(注射薬実習室)に着替えて入室。高カロリー輸液の処方せんに従い、1人1調剤。細胞毒性の注射剤(模擬)の取り扱いについても学ぶ。					
【疑義照会の意義と根拠】、【疑義照会入門】、【製剤化の基礎】	方略34	S302	◎代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。	31号館1階実習室(37名)x1	36-37名	実習	テキスト、プリント、実薬	教員4名	3	実習、配合変化について実際に体験する					
			◎特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)												
		S412	◎注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。 ◎代表的な配合変化を検出できる。(技能)												
【製剤化の基礎】	方略35	S413	◎代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。 ◎体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)	講義室(73名)	73名	講義	プリント	教員1名	1						
	方略36	S413	方略35と同じ	講義室(73名)	73名	演習	輸液処方せん、計算機、プリント、ポケット医薬品集、代表的な輸液、ビデオ	教員4名、TA2名	2	代表的な高カロリー輸液処方せんを用いてカロリー、電解質濃度を計算して補正する。代表的な輸液の種類と適応についてのビデオを見る。現物に触れ、浸透圧、pH測定する。	方略35の自己評価欄に追記				
【安全管理に注目する】	方略37	S501	◎薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	PC、テキスト、プリント	教員1名	1	授業プリント、テキスト使用					
		S502	◎誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	PC、テキスト、プリント	教員1名	1						

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価				
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った	
【副作用に注目する】	方略38	S504	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。	講義室(73名)x1	73名	講義	PC、テキスト、プリント	教員1名	1	授業プリント、テキスト使用						
	方略39	S505	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。	SGD室x8、講義室x1、DI室(37名)x2	73名	演習、発表	PC、テキスト、添付文書、医薬品集、臨床検査値	教員8名	3	テキスト、医薬品集、臨床検査値集使用。グループでまとめて発表						
【リスクマネージメント入門】	方略40	S506	◎誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。◎リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)	SGD室x8、講義室x1、DI室(37名)x2	73名	演習、発表	PC、模擬処方せん、添付文書、医薬品集、テキスト	教員8名	3	テキスト、医薬品集。グループでまとめて発表						
	方略41	S507	◎事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)	SGD室x8、講義室x1、DI室(37名)x2	73名	演習、発表	PC、添付文書、医薬品集、テキスト、インデントレポート	教員8名	3	テキスト、医薬品集、インデントレポート使用。グループでまとめて発表						
【処方せんの基礎】、【医薬品の用法用量】、【疑義照会入門】 処方鑑査(処方せん鑑査実習)	方略42	S202	方略6と同じ	DI室(73名)	73名	演習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員4名	4	DI室は25名x1、50名x1、模擬処方せんは水剤、軟膏剤を含む、S202～S205、306について実習を行う。処方せん配布→添付文書印刷→処方鑑査→教員がチェック・到達目標に関する回答確認 処方鑑査時、処方に疑義があれば処方医役の教員を相手に疑義照会をする	方略6の自己評価欄に追記					
		S203														
		S204														
		S205														
		S206														
		S207														
		S208														
S210																
S306																
【疑義照会入門】	方略43	S306	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。 ◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。 ◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。 ◎疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)	SGD室x8、DI室	73名	実習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員12名	3	疑義のある処方せんを用いて疑義照会、教員による評価、4レーン(実地試験)	方略6の自己評価欄に追記					
【調剤室業務入門】 調剤(実習)	方略44	S210	方略8と同じ	調剤室x2(38名)	36-37名	実習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員4名	2	処方鑑査した処方せんを用いて調剤(水剤、軟膏剤を含む)、評価項目説明、同僚評価	方略8の自己評価欄に追記					
【調剤室業務入門】 調剤(実習)	方略45	S210		調剤室x2(38名)	36-37名	実習	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員8名	2	処方鑑査した処方せんを用いて調剤(水剤、軟膏剤を含む)、教員による評価、4レーン(実地試験)						
【調剤室業務入門】 調剤鑑査(実習)	方略46	S210	方略10と同じ	SGD室x8、講義室x1	36-37名	実習	模擬処方せん、チェック表	教員4名	2	調剤した薬剤(水剤、軟膏剤を含む)、薬袋を用いて調剤鑑査、評価項目説明	方略10の自己評価欄に追記					
【調剤室業務入門】 調剤鑑査(実習)	方略47	S210		SGD室x8、講義室x1	36-37名	実習	模擬処方せん、チェック表	教員8名	2	調剤した薬剤(水剤、軟膏剤を含む)、薬袋を用いて調剤鑑査、教員による評価、4レーン(実地試験)						
【疑義照会入門】	方略48	S304	◎処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。	SGD室x6、講義室x1、DI室(37名)	36-37名	演習、発表	模擬処方せん、PC、添付文書、医薬品集、テキスト	教員4名	3	SGD(6グループ)、プロダクト作成、発表、合計3コマ						

	福山大学方略	コアカリLS	SBOs	場所	学生	学習方法	物的資源	人的資源	学習コマ数	備考	実施日	自己評価			
												出来ない 解らない	少し不十分	まず出来た	出来た 解った
【疑義照会入門】	方略49	S305	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。	SGD室x6、 講義室x1、 DI室(37名)	36-37名	演習、発表	模擬処方せん、 PC、添付文書、医 薬品集、テキスト	教員4名	3	疑義照会した内容について SGD(6グループ)でまとめる、 発表を含め合計3コマ		方略5の自己評価欄に追記			
			◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。												
			◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。												
			◎疑義照会の流れを説明できる。												
	S306	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。	方略6の自己評価欄に追記												
		◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。													
		◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。													
		◎疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)													
総合実習	方略50	S701	総合実習の到達目標は、モデル・コアカリキュラムで確認すること。各学生に複数の課題を提示し、(自己学習一実地試験)を繰り返す。								複数の課題の実地試験で、OSCEに準じて教員の評価を受ける				